

## 学校の問題

教師の問題

本音と建て前

親の問題

2つの方向

## 子の学びの権利

これも認証制度に使われるアイテム

### 二酸化炭素濃度測定



あくまで目安

それを置いて何をするのかが一番大事

改善



そのために何をするのか？

## 空気清浄機

部屋の大きさにあった、濾過風量が大きなもの

必ずしも極めて小さな粒子をとる必要はない

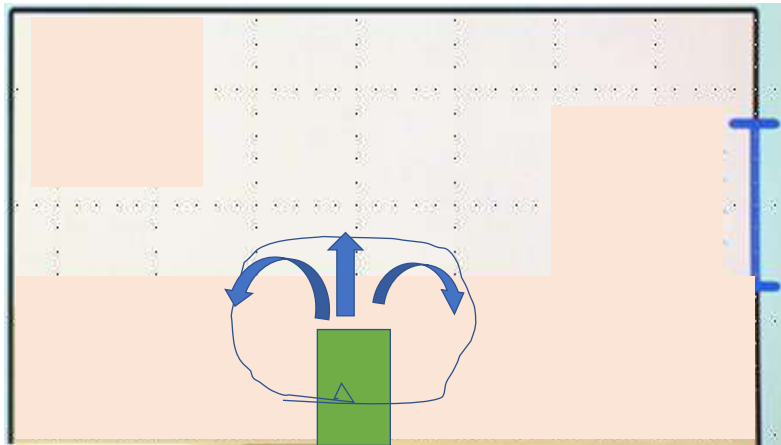
部屋の風の流れを作る

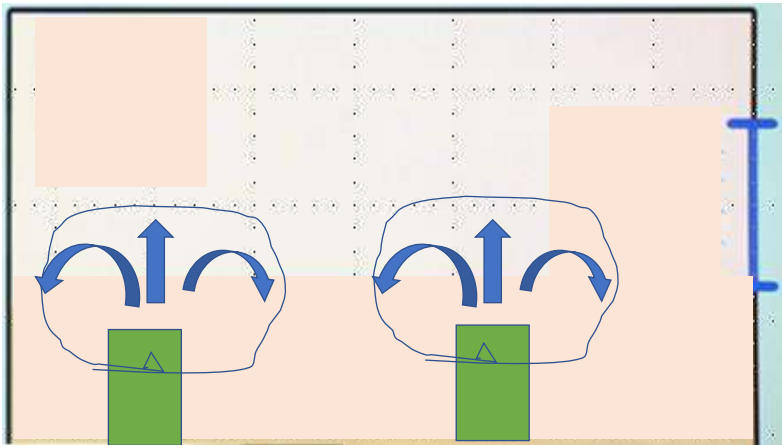
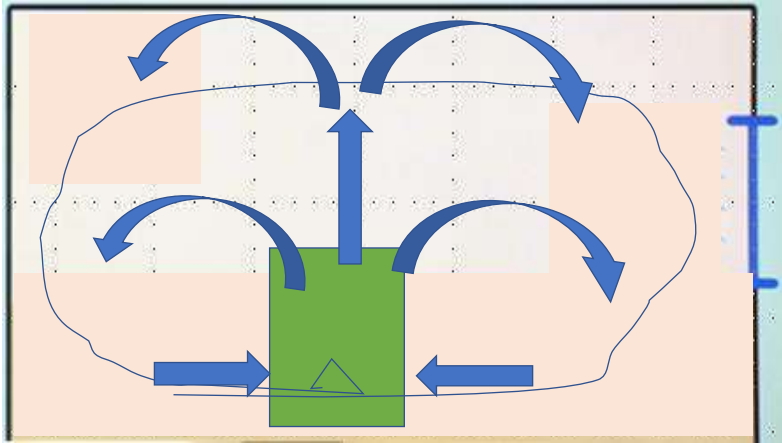
## 空気清浄機

部屋の大きさにあった濾過風量にすること

必ずしも極めて小さな粒子をとる必要はない  
何が何でもHEPAフィルターという過ち

部屋の風の流れを作る





エアロゾル = 空気 + 空中浮遊粒子

空気のコントロール

空中浮遊粒子のコントロール

エアロゾルを吸う側のコントロール

→ マスク（個人防衛用装着）

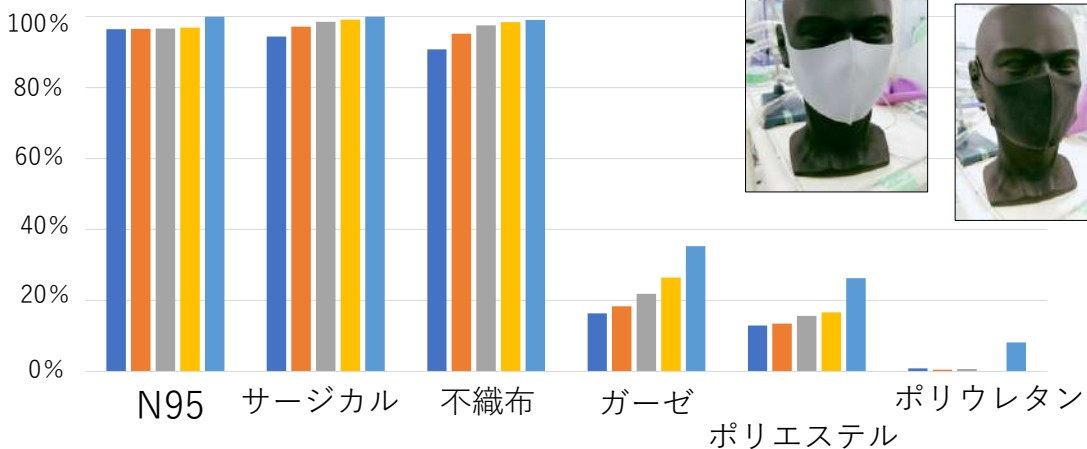
出す方のコントロールも

→ ユニバーサル・マス킹グ



## マスクの選択

マスク素材別の粒子除去性能

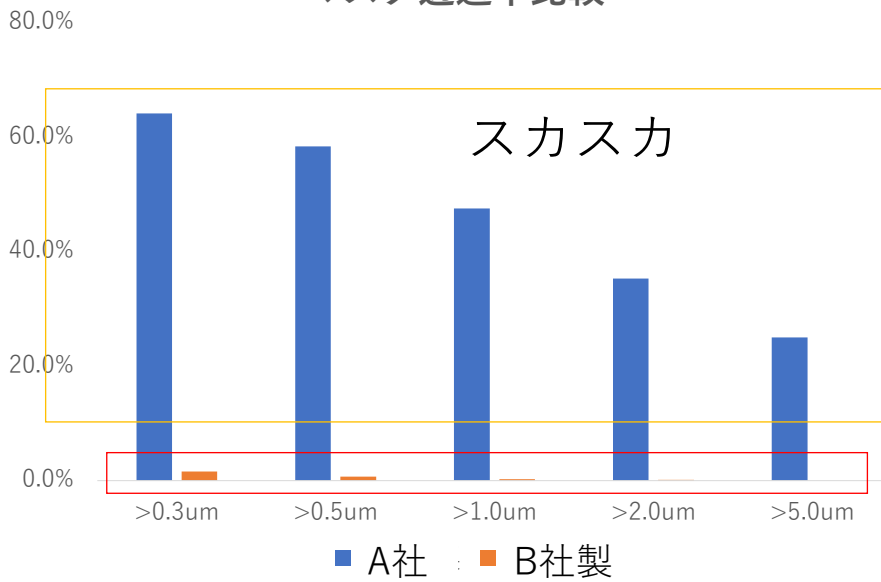




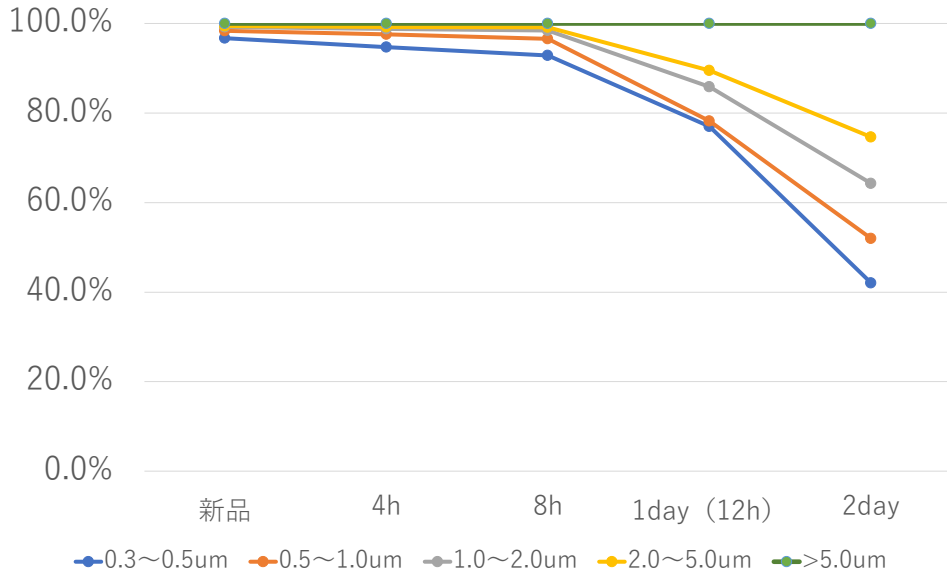
不織布マスクも  
いろいろ

# 結果

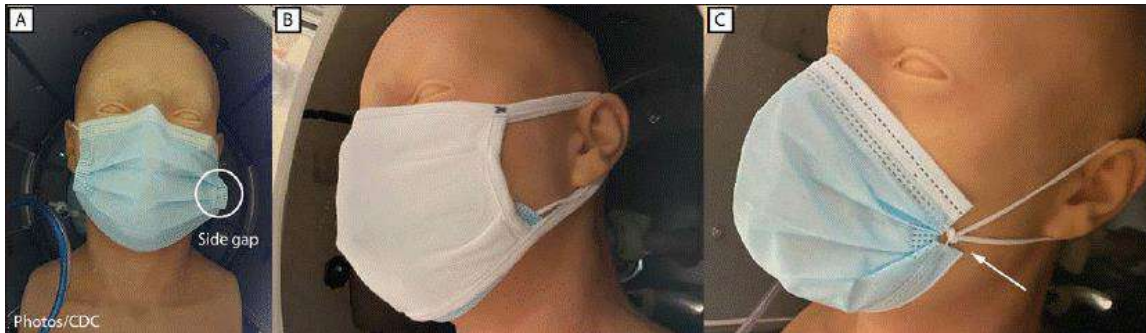
## マスク透過率比較



## 医療用サージカルマスクの使用時間と濾過性能（口元）



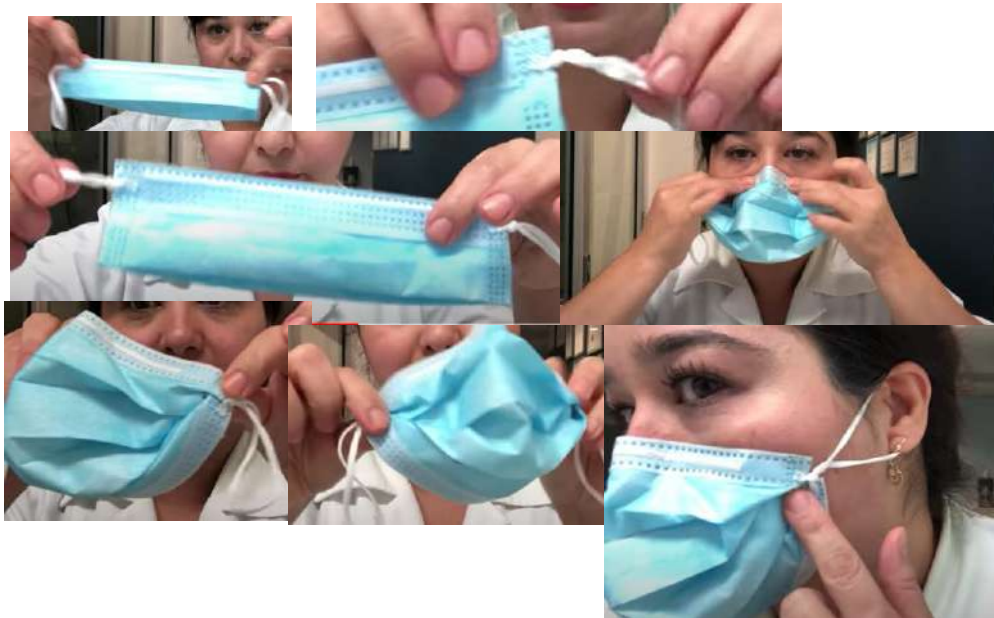
Maximizing Fit for Cloth and Medical Procedure Masks to Improve Performance and Reduce SARS-CoV-2 Transmission and Exposure,



John T. Brooks, M. Blachere; William G. Lindsley, PhD  
Morbidity and Mortality Weekly Report 254 MMWR /  
February 19, 2021 / Vol. 70 / No. 7

**FIGURE 1. Masks tested, including A, unknotted medical procedure mask; B, double mask (cloth mask covering medical procedure mask); and C, knotted/tucked medical procedure mask**

<https://www.youtube.com/watch?v=2TTg53aAP8Q>







ウィズ・コロナの世界

## 対策はした。それでも罹ってしまったら？

ワクチンをしていたら「自分はまず大丈夫」と信じること

その上で

まわりに感染を拡げないように努力すること

(冷静に、心を強く持つ)

ちょっとあやしいと思ったときから、（そしてPCR陽性と言われたら）

マスクと換気 周囲に気をつかうこと

日に3回 イソジンうがい液でしっかりうがいすること

濃い目に淹れた緑茶あるいは紅茶を  
ゆっくりと口をゆすぐように飲む

カテキン、テアフラピン

広げないため  
懼らないため

広げないためのマスク  
懼らないためのマスクと空調

+  $\alpha$



奇跡の駆逐艦

ここから対策のはなし

何をどうすればよい？

+

捨てるべきものは？

むしろ捨てるべきものは、くだらない形だけの対策  
というはなし

## 守る相手を明確化する

- ・ 自分を守る
- ・ 家族を守る
- ・ 同僚を守る
- ・ 客を守る

それを行う場は？ どこでの守り？

それをやる目的を明らかにしておく

だれとだれとの間の感染？

自分→客      客→自分      客→客

もっと賢くなりましょう

自分のアタマで考えましょう

ひとつひとつ、具体的に考えよ

なんのためにそれをやるのか？

それは必要なのか？ どうして？

## 対策のはなし

何をどうすればよい？

+

捨てるべきものは？

むしろ捨てるべきものは、くだらない形だけの対策  
というはなし



対策その1 就業の前後、作業・サービス提供の前後、清掃作業の後など、こまめに手洗いを実践しましょう!



対策その2 可能な範囲で来店されたお客さまにも手指の消毒をお願いしましょう。

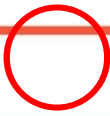


対策その3 人がよく触れる箇所について、こまめな清掃・消毒を行いましょう。

- 接触感染防止のために、ドアノブ、スイッチ、テーブル、カウンターなどの手がよく触れるところを消毒用アルコールで拭く。又は薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤（界面活性剤を含む住居用洗剤でも可）で拭いた後、水拭きしましょう。手が触れることがない床や壁は通常の掃除で構いません。
- 他人と共用する物品や手が頻りに触れる箇所を少なくする工夫もしましょう。



対策その4 従業員・スタッフの日常的な健康状態を確認しましょう!



対策その5 お店・施設の「3密」を改善し、集団感染（クラスター）の発生を予防しましょう!



対策その6 新型コロナウイルス感染症の陽性者等が判明した場合には適切に対応しましょう!



生活衛生関係営業の皆さまのご商売は、不特定多数のお客さまと接する機会の多いご商売です。





●従業員・スタッフが「感染しない」ためのその他の取り組み



1 開店時間、閉店時間の見直し、出勤時間の見直しなどにより、時差通勤や自転車通勤を活用しましょう。



2 休憩所、テラスやコートなど狭い場所を沢山の従業員が利用しないように配慮しましょう。



3 換気の悪い密閉空間、多くの人が密集する場所、近距離での会話など、集団感染が発生しやすい場所への立ち入り等について感染防止を意識して行動するよう呼びかけましょう。



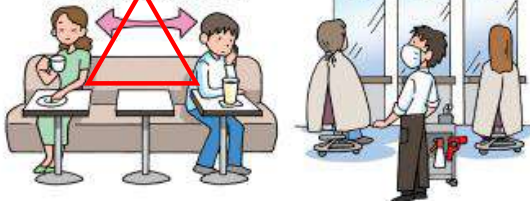
4 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽しましょう。



5 ユニフォームや衣類はこまめに洗濯しましょう。

●お客さま同士の距離を確保する工夫をしましょう。

十分な距離をとる



席の人と1つ飛ばしに座る・真向かいに座らず互い遠くに座るなど、イスの数や配置を工夫して、お客さま同士の距離を十分に保つ。(飲食店)

理容室

- 皆さんのお店を利用するお客さまも「感染しないように」と気をつけています。
- 感染拡大防止のために取り組んでいることをしっかりとお客さまに分かるようにPRし、安心して快適な時間を過ごしてもらえる工夫を考えましょう。



完全予約制にし、店内の客数を減らす。(理容室・飲食店)



フロント、会計、券売機の利用に際して、後のお客さまとの距離を取るよう注意喚起を掲示する。



## 保健所に相談・確認すること

- 営業の継続・施設の消毒について
- 他の従業員の出勤・従事について
- お客さまへの連絡について

※他の従業員やお客さまへの感染拡大を防ぐ「感染させない」ための措置を検討しておきましょう。

理容業における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイド  
ライン 令和2年5月29日策定 令和2年12月28日改訂  
全国理容生活衛生同業組合連合会

なお、新型コロナウイルスの最新の知見や今後の各地域の感染状況等を踏まえて、**本ガイドラインは随時見直すこと**とする。

~~①接触感染のリスク評価 複数の従業員で共有する器具や、ドアノブなど顧客が手を触れる場所を特定し、これらへの接触の頻度を評価する。高頻度接触部位（受付テーブル、理容椅子、ドライヤー等の理容器具、整髪料、シャワーヘッド、ドアノブ、電気スイッチ、電話、レジ、蛇口、手すり、エレベーターのボタン等）には特に注意する。~~

## 見直すこと

- 2) 施設内の各所における対応策 ① 顧客への施術中を除き、1m以上確保するように努める
- ・ 人と人が対面する受付等の場所は、対人距離を確保するかアクリル板や透明ビニールカーテンなどで遮蔽
  - ・ 電子マネー等非接触決済の導入を奨励するとともに支払時にコイントレーの使用
  - ・ 感染防止のための来店者の整理（密にならないように対応。来店者数の調整及び理容椅子の間隔に配慮。発熱又はその他の感冒様症状を呈している者等の来店制限を含む）
  - ・ 入口や施設内のアルコール擦式手指消毒薬の設置又は石鹸と流水による手洗いの励行

## 見直すこと



- ・ 予約時に事前の検温をお願いするか、来店時での検温を行い、発熱の有無の確認を行うよう努める。
- ・ 密にならないよう施術の予約時間を調整する。

状況によっては、来店時に発熱者を体温計などで特定し入店をご遠慮いただくことも考えられる。

- ・ 予約時に事前の検温をお願いするか、来店時での検温を行い、発熱の有無の確認を行うよう努める。
- ・ 密にならないよう施術の予約時間を調整する。
- ・ 顧客への施術に影響がない範囲で顧客にもマスクを着用していただくことが望ましい（カット施術時には耳掛け紐のないマスクを使用するなど工夫）

#### ④トイレ（※感染リスクが比較的高いと考えられるため留意する。）

- ・ 便器内は、通常の清掃で良い。
- ・ ドアノブや便座、手洗いの蛇口など不特定多数が接触する場所は、定期的に清拭消毒を行う。
- ・ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・ 使用後は確実に石鹸と流水による手洗いをすよう表示する。
- ・ ペーパータオルを設置するか、個人用にタオルを準備する。
- ・ ハンドドライヤー（手洗い後、手を乾かすためのもの）は止め、タオルの共有は禁止する

③施術中・理容椅子の間隔を広く設置する、顧客を案内する際に密にならないようご案内する等、十分な距離（ソーシャルディスタンス（顧客への施術中を除き、1m以上確保するように努める））を確保すること。

- ・ 従業員は作業衣を清潔に保つとともに常にマスクを着用し、必要に応じて手袋を使用すること。

特に、顔そり等の顔面作業時には必ずマスクを着用することとし、必要最小限の会話とすることに努めること。

- ・ 必要に応じて、目の粘膜からの感染を防止するための目を覆うことができる物（フェイスガード、ゴーグル等）を着用すること。



#### ⑤従業員の休憩室及び顧客の待合室（※感染リスクが比較的高いと考慮されるため留意する。）

- ・ 予約の調整を行うことにより、なるべく顧客が待合室を使用しないようにする。
- ・ 対人距離を確保する（1m以上確保するように努める）
- ・ 一度に休憩する人数を減らし、対面で飲食や会話をしないようにする。
- ・ 共有する物品（テーブル、椅子、水道の蛇口等）は、定期的に清拭消毒する。



このマークが安心の目印です!



## 制度の目的

宮城県では、令和3年5月21日から飲食店が取り組む感染対策を認証する制度を始めました。

県内飲食店における感染防止策を強化し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を断続的に抑えこむとともに、県が第三者として認証することで利用客の増加につなげ、県内飲食業の振興を図るものです。

本制度では、各店舗における感染対策状況を職員等が現地に赴いて確認し、県が作成した認証基準を満たした店舗に、下記の認証ステッカーを交付します。

## 選ぶ！選ばれる!!みやぎ飲食店コロナ対策認証基準 【入店・支払時等】

- 1 店舗入口に、熱や咳・咽頭痛・倦怠感・息苦しさなどの**症状が認められる場合には入店を断る旨**を掲示し、出入りの業者等を含め、体調不良者の入店を断っている（入店時に体温確認し、体調の聞き取りを行うことが望ましい。）。
- 2 店舗入口及び店舗内各所に消毒液（消毒用アルコール等）を設置し、**入店時に必ず従業員が来店者に呼びかけ、手指消毒を実施させるとともに、トイレ使用後などの定期的な手洗い・手指消毒を要請する**。
- 3 順番待ち等により列が発生するなど密な状況が発生する場合は、対人距離が1m以上保たれるように周知するとともに、従業員が誘導する。
- 4 食事中以外のマスク着用について、来店者に対し掲示及び声がけなどで促し、正当な理由※なくマスクを着用していない来店者に対し入店を断るかマスクの配布・販売を行う
- 5 **レジと利用者等との間に、アクリル板等のパーティションによる仕切りを設置する**。
- 6 会計処理に当たる場合は、**コイントレイを介した受け渡しを行い、又はキャッシュレス決済を導入する**。



〔テーブル・カウンター間の配置〕

7 利用者を席に案内する時は、他グループとの同一テーブルでの相席は避け、テーブル・カウンター間の配置について以下のいずれかの方法により飛沫感染防止を図る。

・同一グループが使用するテーブルとその他のグループが使用するテーブル（又はカウンター）の間は、テーブルとテーブル（又はカウンター）との間隔が2m、最低1m以上確保できるように配置する

・同一グループが使用するテーブルとその他のグループが使用するテーブル（又はカウンター）の間に、アクリル板等のパーティション（目を覆う程度の高さ以上のものを目安）による仕切りを設ける。

〔同一グループのテーブル席の配置〕

8 テーブル席においては、以下のいずれかの方法により飛沫感染防止を図る。

**ただし、少人数の家族、介助者同席の高齢者・乳幼児・障害者等が対面又は隣席での着座を希望する場合は除く。**

- ・隣席及び対面席の中心との間隔を1m以上空ける。
- ・隣席及び対面席との間に、アクリル板等のパーティションによる仕切りを設ける。

〔同一グループのカウンター席の配置〕

9 カウンター席は、以下のいずれかの方法により飛沫感染防止を図る。

**ただし、少人数の家族、介助者同席の高齢者・乳幼児・障害者等が隣席での着座を希望する場合は除く**

- ・隣席の中心との間隔を1m以上空ける。
- ・隣席との間にアクリル板等のパーティションによる仕切りを設ける。

10 カウンターサービスでは、以下のいずれかの方法により飛沫感染防止を図る。・真正面での会話を避け、従業員とカウンター利用者との対人距離を1m以上保つよう努める。


・アクリル板等のパーティションによる仕切りを設ける。

12 利用者が入れ替わる都度、テーブル・カウンターを消毒液（消毒用アルコール等）で清拭する。

これにより難しい場合は、利用者に都度、テーブル・カウンターを消毒液で清拭することなどを求める

13 料理は大皿盛りを避け、個々に提供するか、従業員が取り分ける。〔ビュッフェスタイル、サラダバー、ドリンクバー等〕

14 ビュッフェスタイル、サラダバー、ドリンクバー等の形態で料理を提供する場合は、以下の措置を全て講じる

- ・利用者に、料理を取る時マスクの着用を要請する。
- ・従業員が予め一回の取り分け分ごとに小皿やコップ等に取り分けるか、  
利用者が使い捨て手袋等を着用し料理を取る。 

15 お酌<sup>?</sup>や回し飲み、箸やスプーンなど食器の共有、使い回しを避けるよう注意喚起する。


16 卓上に共用の調味料、ポット類の設置を避けるか、これらを利用者入れ替え時に消毒する。 

17 箸やレンゲ、スプーン、取り皿などの食器はテーブル上にまとめて据え置かずに<sup>?</sup>料理提供時等に個別に提供する。


これにより難しい場合は、カバーや覆いをかぶせるなど、飛沫が直接かからないよう保護して据え置く。

〔カラオケ、ライブ、ダンス、ショー、余興等〕

20 カラオケ、ライブ、ダンス、ショー、余興等は原則として自粛する。実施する場合は以下の全てを実施し、身体的距離の確保や飛沫拡散防止を図る。


- ・歌唱者や出演者に不織布マスクを確実に着用（鼻筋と顔に密着させ着用）するよう要請する。
- ・歌唱者や出演者の間で1m以上の対人距離を確保することを要請するか、又はアクリル板等のパーティションによる仕切りを設置する。 

・マイクは都度消毒液（消毒用アルコール等）で清拭する。<sup>?</sup>

- ・ステージの場所を特定し、客席とステージの距離を2m以上確保するか、又はアクリル板等のパーティションによる仕切りを設置する。 

・換気は、換気設備の常時稼働や窓又はドアの常時開放を行い、必要に応じてサーキュレーター等を用いて空気の流れを作り、歌唱者や出演者の近くから排気する。

HEPAフィルター付き空気清浄機を用いる場合は、歌唱者や出演者の近く且つ換気の空気の流れを妨げない場所に設置する。<sup>?</sup>・利用者に歓声、声援等を発しないように要請する。


2.4 多数の人が触れる箇所（ドアノブ、手すり、券売機、椅子、メニューブック、タッチパネル、卓上ベル、電気のスイッチ、蛇口、便座、洗浄レバー等）を定期的に消毒液（消毒用アルコール等）で清拭する。

2.5 手洗い場のハンドドライヤー、共通のタオルは使用せず、ペーパータオル等を設置する。

2.6 トイレを毎日定期的に清掃するとともに、汚物は蓋をして流すよう掲示する。

【従業員の感染予防】 3.0 休憩スペースでは、以下の措置を全て講じる。

不織布マスクを着用し、一度に休憩する人数を減らし、対面での食事や会話を避ける。

・常時換気（基準は店舗内と同じ）を行い、共用する物品は定期的に消毒する。

3.1 従業員のユニフォームや衣類は定期的に洗濯する。

3.2 食品残渣、鼻水、唾液などが付いた可能性のあるゴミ等の処理はマスクや手袋を着用し、作業後、手洗い・手指消毒を徹底している。

## ご提案

この際、自分たちのガイドライン  
をつくりませんか？

裏ガイドライン！

すし	2	
めん類	4	
中華	1	
社交	1	
料理	1	
喫茶飲食		
食肉		
理容	1	
美容業	7	
映画協会	3	
ホテル旅館	12	
...	..	-

ご清聴ありがとうございました

ものを怖がらなすぎたり、怖がりすぎたりするのはやさしいが、  
正当に怖がることはなかなかむづかしい

寺田寅彦